

令和元年6月7日 市長による要請活動

福田市長が鈴木総務副大臣に面会し、要請書を手交しました。

福田市長から、以下の話を中心に要請しました。

・「地方税財源の充実確保」について、大都市特有の財政需要や事務配分の特例等に対応するため、国・道府県から指定都市への税源移譲を行うこと。

・「財政力に応じた国庫支出金等の割り落とし及び嵩上げ制限の廃止」について、国庫支出金等の補助率を割り落とす等の、財政力格差の是正は行わないこと。

・「ふるさと納税に係る財政措置等」について、特例控除額に定額の上限を設けること。

鈴木総務副大臣からは、主に以下の話がありました。

・財源調整は交付税制度が原則だが、実態は必ずしもそのようでないこともあり、川崎市の事情も理解している。ふるさと納税は今般制度を見直したところであるので、その状況を踏まえた上で、本来の趣旨で発展するよう共につくりあげていきたい。

【鈴木総務副大臣への要請時の模様】



要請内容（重点要請事項）

○ 大都市の役割にふさわしい税財源の充実

1. 地方税財源の充実確保について
2. 財政力に応じた国庫支出金等の割り落とし及び嵩上げ制限の廃止について
3. ふるさと納税に係る財政措置等について

○ 安心のふるさとづくり

4. 障害者制度改革に係る財政措置等について
5. 「介護サービス制度」の改善について
6. セーフティネットの更なる充実等について
7. 待機児童の解消と保育の質の確保に向けた支援及び子どもの医療費の助成の在り方の検討について
8. 児童相談所等の体制強化について
9. 安全・安心で良好な教育環境の充実について

○ 力強い産業都市づくり

10. 殿町国際戦略拠点（KING SKYFRONT）における特区の取組推進とイノベーション創出について
11. “水素社会”の実現に向けた川崎水素戦略の着実な推進について
12. 我が国の成長戦略の一翼を担う重要な地域である川崎臨海部の交通ネットワーク基盤の整備・充実について